

候補者推薦にあたっての留意事項

1. 海外研究連絡センターとは

日本学術振興会海外研究連絡センター（以下、「海外センター」という。）は、世界の9か国10都市に設置され、諸外国の学術振興機関との連携強化を図り、海外における振興会事業を円滑に実施するとともに、我が国の大学等学術研究機関が行う国際交流活動を支援するなど、学術の国際交流を推進するための活動を行っています。

2. 海外センターの組織と構成員

海外センターでは、原則、管理運営の最高責任者としてのセンター長、センター長を補佐し事務的な業務を担当する副センター長、日本の大学等研究機関の事務職員で海外研修のため現地に派遣されている国際協力員、及び現地スタッフにより構成されています。この他、特定の海外センターには文部科学省からアドバイザーが派遣されています。（それぞれのセンターの構成員については、別添の「概要」をご参照下さい。）

3. 海外センターのミッション

海外センターのミッションは以下の通りです。

- ① 海外の学術振興機関との協議その他の連携
- ② 研究者招へい事業その他の振興会事業の海外における実施
- ③ 大学等の海外活動拠点の構築や大学職員の海外研修の実施等を通じた我が国の大学等の海外活動展開の協力・支援
- ④ 日本人研究者も含めた現地の研究者のネットワーク構築とフォローアップ活動
- ⑤ シンポジウムの実施等による我が国の学術情報の発信や海外の学術動向などに関する情報収集
- ⑥ 地域研究等を海外で行う研究者の支援
- ⑦ その他必要と認められる業務

（参考）日本学術振興会海外研究連絡センター 一覧

名 称	担当国・地域
ワシントン研究連絡センター	北米地域
サンフランシスコ研究連絡センター	北米（西海岸）、中南米
ボン研究連絡センター	ドイツ及び周辺国、中東欧諸国
ロンドン研究連絡センター	イギリス及び周辺国
ストックホルム研究連絡センター	北欧諸国
ストラスブール研究連絡センター	フランス及び周辺国
バンコク研究連絡センター	東南アジア諸国及び周辺国
北京研究連絡センター	中国及び周辺国
カイロ研究連絡センター	北アフリカ諸国、中東諸国
ナイロビ研究連絡センター	サハラ以南のアフリカ諸国

4. センター長の待遇等

(1) 任期及び派遣期間

センター長の任期は一期2年です。今回の公募対象となるセンター長の委嘱期間は、以下のとおりを予定しています。

- ・ サンフランシスコ：令和8年4月1日～令和10年3月31日（2年間）
- ・ スtockホルム：令和8年5月1日～令和10年4月30日（2年間）

本会理事長が必要と認めた場合再任を可能とし、再任は原則として2回までとします（合計の任期は6年まで）。ただし、理事長が特に必要と認めた場合、2回以上の再任を認める場合があります。

(2) 選考方法

ご推薦いただいた候補者について、振興会の「海外研究連絡センター長選考委員会」において選考を行います。

(3) 求められる資質

- ① 学術上顕著な業績を有し、センターの所在国でも知名度が高いこと
- ② 振興会の事業について、積極的に取り組む意欲を有していること
- ③ 組織を管理運営するための能力及び経験を有すること
- ④ 学術の国際交流業務に関する知識及び経験を有していること
- ⑤ 意欲的かつ戦略的に事業を展開できる行動力を有すること
- ⑥ 業務に必要な外国語の能力を有すること

(4) 待遇

本会理事長からの委嘱によりセンター長にご就任いただきます。また、本会規程により、以下の経費を支給します。（記載の金額は毎年度改定があるため、変動する可能性があります。）

- ・ 渡航旅費（着任時、帰任時）ビジネスクラス
- ・ 滞在旅費（在勤手当）サンフランシスコ：月額約63～70万円、ストックホルム：月額約55～62万円、配偶者・子女の有無により変動（毎年改定、外国通貨にて支給）
- ・ 滞在旅費（住居手当）サンフランシスコ：月額上限約61万円、ストックホルム：月額上限約29万円（実際の月額家賃から控除して認定額を算出）、配偶者・子女の有無等により上限額は変動（毎年改定、外国通貨にて支給）
- ・ 業務旅費（本会用務による出張の場合）
- ・ 一時帰国旅費（本会用務による一時帰国の場合）
- ・ 同伴家族渡航旅費（同伴家族を伴って着任、帰任する場合）
- ・ 海外旅行傷害保険料
- ・ 荷物運搬料
- ・ 調査研究費
- ・ 運営者謝金（他機関等で常勤の職を有しない者のみ）

(5) 提出書類（以下3点全て提出必須）

- ① 日本学術振興会海外研究連絡センター長推薦理由書（様式指定。別紙のとおり）
今回の公募対象となる2センター（サンフランシスコ、ストックホルム）のうち、希望のセンターがある場合にはセンター名を記載ください。ただし、本会の選考過程において候補者に最適と考えるセンターがある場合には、希望以外のセンターのセンター長就任を打診することがあります。
- ② 候補者経歴書（様式指定。別紙のとおり）
推薦理由書及び経歴書等に関して質問があった場合、確認のため連絡を取ることがあります。
候補者氏名のふりがな、機関のご担当者名および連絡先を含めてくださるようお願いいたします。
- ③ 候補者の主たる業績（様式自由）

5. 提出方法、提出先

本候補者の推薦について、貴機関関係者へご周知いただき、貴機関において適任と考える候補者がいる場合、ご推薦をお願いします。下記の提出先宛てに郵送（簡易書留）又は指定するファイルストレージを利用して電子媒体で提出してください。

[郵送の場合]

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1

独立行政法人日本学術振興会 国際事業部国際企画課国際情報係

TEL : 03-3263-1792

[ファイルストレージにより電子媒体で提出する場合]

overseas-o[at]jsps.go.jp までご一報ください。折り返し、アップロード用のファイルストレージのURLをお知らせいたします。[at]は@に変換ください。

6. 提出期限

令和7年9月11日（木）必着

7. その他

- (1) 推薦される候補者は常勤・非常勤を問いません。
- (2) ご提出いただいた書類については返却いたしません。また、本推薦依頼により提供いただいた個人情報、海外研究連絡センター運営者の選考に関すること以外には使用しません。
- (3) 選考結果については令和7年10月（予定）に書面をもってご連絡いたします。

以上